

6年1組 国語科デザインシート		授業者 ○○○○	授業場所 教室	児童数○○名
単元名 物語の主題を考えよう ・教材「きつねの窓」 (教育出版6年下)	時	課題	学習内容	授業後の児童の姿
単元に係る児童の実態 本学級の児童は、図書室で本を借りて積極的に読書を行っている。また、国語の学習では1学期後半に物語文「川とノリオ」で、物語における優れた表現技法(色・比喩・擬音語等)や叙述から人物の心情を読み取ることを学習してきた。表現技法による効果や心情の変化を、叙述に即して読み取り、自分の言葉で説明できる児童もいるが、まだまだ主体的に読み取りができる児童は少ない。また、県学力調査の結果から、本校の児童は国語の領域の中でも「読むこと」に関する問題の正答率が低い傾向にある。 以上の実態を踏まえて、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることを中心として指導する。また学習のゴールに向かっていく各時間で自分の考えを叙述をもとに書かせた後、ペアやグループで考えを共有し合うことで、新たな考えに気付いたり、自分の考えを深めたりさせたい。	1	◎単元のゴールを知り、ファンタジー作品について知ろう。	○学習の見通し ○ファンタジー作品の構成	・学習の見通しをもち、ファンタジー作品の構成について理解している。 ・「きつねの窓」や自分が選んだファンタジー作品を意欲的に読もうとしている。
単元のゴール ・ファンタジー作品の特徴を捉えながら、叙述をもとに登場人物の心情の変化を読み取ることができる。 ・作品全体を通して読み取ったことを基に主題を考え、根拠を明確にして書くことができる。 (1) 登場人物の心情の変化に興味をもちながら読み、主題を書こうとしている。(関心・意欲・態度) (2) ファンタジー作品の特徴を捉えながら、登場人物の心情の変化を読むことができる。(読むこと) (3) 語句と語句との関係や、文末表現の効果など、言葉の使い方に対する感覚などについて、気を付けることができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)	2 3	◎子ぎつねに対する「ぼく」の気持ちはどのように変化していったのだろう。	○登場人物の心情の読み取り方 ○登場人物の心情の変化のとらえ方	・叙述の中から行動や会話文に着目し、そこから読み取れる心情について考えられている。 ・物語の中で、登場人物の心情が変化したところが、自分なりに叙述から読み取れている。
学校図書室の利用を促進するために、学校図書室のファンタジー作品の紹介ポップを作ります。その物語の主題が分かるポップにするにはどうしたらよいでしょう。	4	◎指で作った窓には、何が映ったのだろう。なぜ、それらが映ったのだろう。	○叙述に即した読み取りの仕方 ○交流の仕方	・叙述に即して、窓の意味を考えられている。 ・交流によって、友達の意見を聞いて自分の意見を深められている。
	5	◎不思議な体験をしたことによって、「ぼく」には変化があったのだろうか。	○登場人物の変化の読み取り方	・物語全体をとらえ、登場人物の最初と最後の心情の変化を、叙述をもとに考えられている。
	6	◎これまでの学習から「きつねの窓」の主題を考えよう。	○主題のまとめ方	・これまでの学習を生かして、「きつねの窓」の主題を主体的に考え、まとめられている。
	7	◎自分が読んだファンタジー作品の主題を考えて、ポップに書こう。	○今までの学習内容を自分で活用すること	・「きつねの窓」で学習してきたことを基に、それぞれのファンタジー作品の主題をとらえ、ポップに書けている。
言語活動 ○ ファンタジー作品の主題を考えて、ポップを書く。 学習のゴールにファンタジー作品の主題を考える活動を取り入れる。主題を捉えるためには、登場人物がどのような人物なのか、しっかりと押さえておく必要がある。教材文『きつねの窓』では、ぼくが子ぎつねとどのような関わり合いをもっているか、行動や心情をとおして読んでいく。目的意識をもつことで、児童の学びへの意欲を高める。	「読むこと」の繋がりを意識させるために 第5学年では『雪わたり』の教材において、表現の工夫や登場人物の性格を考えて読んだこと、第6学年では『川とノリオ』の教材において、優れた表現を味わいながら、登場人物の心情を読んだことを想起させる。 ゴールを意識した学びにするために 見通しをもって、学習できるよう単元導入時に単元計画を児童と作る。毎時間学んだことが積み重なっていくようなワークシートを作成し、振り返りを書かせる。毎時間、導入で前時でよく書けていた児童の振り返りを紹介する。			

本時の目標		叙述に即して、窓の意味を考えることができる。	
前時の概要	学習活動	学習内容	指導上の留意点
<p>○子ぎつねに対する「ぼく」の心情を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ぎつねの行動、会話にサイドラインを引く。 ・それに対する「ぼく」の心情が分かる文にサイドラインを引く。 ・「ぼく」の心情を考え、ワークシートに記入する。また心情曲線を書く。 	<p>1 前時までで分かった「ぼく」の心情の変化を想起する。</p> <p>2 本時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○前時の学習内容の想起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ぎつねに対する「ぼく」の心情の変化 ・心情が大きく変化した場面（窓に風景や人物が映った場面） <p>○学習の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で用いた心情曲線を見返し、「ぼく」の心情の変化があったことを確認させる。また、どの場面で大きく心情が変化したか、想起させる。
主体的・対話的で深い学びに向けて（☆）			
本時では、子ぎつねと「ぼく」が作った窓になぜ母ぎつねや少女が映ったのか、児童それぞれが考えワークシートに記入した後、グループでの話し合い活動を設ける。課題解決に向けて、それぞれが叙述から考えたことを発表し合い、質問をし合うことで、自身の考えを深めさせる。			
本時の板書計画 4 / 7			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>○「ぼく」の窓に見えたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人の少女 ↓昔大好きだった。決して会うことのできない少女。 ・子どものころの家 ↓なつかしい庭 ・子どもの長靴 ・二人の子どもの笑い声 （ぼく、死んだ妹） </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">共通すること 今はないもの・人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映った理由 ・忘れられない、でも覚えておきたいものが映る。 ・忘れきれずにいて、未練が残っているものが映る。 </div> <div style="width: 30%;"> <p>○子ぎつねの窓に見えたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白い母ぎつね ↓しっぽをゆらりと立てて、じつとすわっている。 </div> </div> <p style="text-align: center;">指で作った窓には何が映ったのだろう。なぜ、それらが映ったのだろう。</p>		<p>3 子ぎつねや「ぼく」が作った窓には、それぞれ何が映ったか、ワークシートに記入し、発表する。</p> <p>4 なぜ、それらが映ったのか共通する事柄を見つけ、その意味を考える。</p> <p>5 グループで各自が記入したことを発表する。（各自→グループ）☆</p> <p>6 グループで出した意見を、全体に発表する。（グループ→全体）☆</p> <p>7 本時のまとめと振り返りをする。</p>	
<p>○不思議な体験をしたことによって、「ぼく」には変化があったのか、物語全体から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの心情の変化の読み取りや、本時での「窓」の意味について考えたことを基に、「ぼく」自身に物語の最初と最後で変化があったのか、理由を明確にして考えることで、物語全体の主題を捉える活動に繋げる。 		<p>○叙述に即した読み取りの仕方</p> <p>〈押さえたい表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死んだ母さんの姿を、一回でもみたいと思ったんです。 ・昔大好きだった、そして、今はもう、決してあうことのできない… <p>〈押さえ方〉</p> <p>※窓に映ったときの、子ぎつねと「ぼく」の心情が分かる叙述を見つける。</p> <p>〈出させたい答え〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘れられない、でも覚えておきたいものが映る。 ・忘れきれずにいて、未練が残っているものが映る。 <p>○交流の仕方</p> <p>○本時のまとめ</p>	
<p style="text-align: center;">今後の展開</p>		<p style="text-align: center;">指で作った窓には何が映ったのだろう。なぜ、それらが映ったのだろう。</p>	
<p>○不思議な体験をしたことによって、「ぼく」には変化があったのか、物語全体から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの心情の変化の読み取りや、本時での「窓」の意味について考えたことを基に、「ぼく」自身に物語の最初と最後で変化があったのか、理由を明確にして考えることで、物語全体の主題を捉える活動に繋げる。 			
		<p>子ぎつねや「ぼく」にとって忘れられない、未練のあるものや人だったから、窓に映った。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ叙述から具体的に書かせる。 ・各自で書かせた後、全体で確認する。 ・共通する事柄は、各自で考えさせた後、全体で確認する。子ぎつねと「ぼく」の作った窓には「今はないもの・人」が映ることを押さえる。 ・どの叙述あるいは場面から考えたのか、根拠を明確にして発表させる。 ・グループで出した意見をまとめさせる。 ・各自のワークシートには、友達の意見を聞いて、自分の考えに付け足しをしたり、新たな意見として友達の意見を書いてもよいことを伝える。 ・まとめは、児童の言葉を用いてまとめる。 ・次時は、本時までの学習を基に「ぼく」が物語の最初と最後で変わったのかを話し合う活動であることを伝える。 			